

基本情報

- ◆ 認定年度: 2018(平成30)年
- ◆ 設置時期: 2018(平成30)年8月
- ◆ 実施部局: 高等研究院物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)
- ◆ 相手方機関: ウィタヤシリメディー科学技術大学院大学(VISTEC)
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置場所: ウィタヤシリメディー科学技術大学院大学(VISTEC)(タイ・ラオーン)
- ◆ 活動内容: 材料分野における研究の推進を目指す。海外で活躍できる大学院生や若手研究者の育成が期待できる。

活動による大学全体への波及効果

- 現地企業を含めた国際共同研究の発展
- 優秀な留学生獲得
- 現地学生への教育、サマースクールの提供
- 国際共同学位(JD・DD)プログラムへの発展
- ベンチャー起業
- 現地滞在有るいはオンラインを通してタイ国各地方に存在するトップレベルの大学の学部生に対してアピール、優秀な学生の獲得を見込む。
- VISTECがPhD学生に提供している1~2年間の海外留学システムを活用し、VISTECをハブとした全世界の関連トップラボとの連携強化や共同研究を開拓。
- 獲得しているタイ国研究グラントの継続・発展、および複数の研究組織からなる新たなコンソーシアム研究体制の構築。

活動概要



- PhD学生の研究指導と産官学への輩出
- 持続的ラボの構築、運営
- プロジェクト立ち上げ、外部資金獲得



2023年度の主な活動実績

① 材料・化学分野の研究推進、および人材育成・輩出

- VISTEC内の研究グループとの協働等を通じた、研究成果発表。例として、**2023/4/1-2024/3/31の期間において、トータル17報(含5報のNature index誌)を発表した。**
- VISTEC海外留学プログラムやオンサイトラボ経費を活用し、特に欧米の主要研究グループへの派遣と共同研究体制の強化を行った。また博士課程学生はいずれも海外学会に参加、発表させ、研鑽を積ませる試みを年度を通して行った。
- 共に研究を進めてきたDr Thidarat Imyen (iCeMSジュニアフェロー) が当該オンサイトラボでの成果を認められ、**タイ・カセサート大学のファカルティとして栄転した(人材輩出)。**

② 持続的ラボの構築のための試み | プロジェクト立ち上げや外部資金の獲得

- 学科に所属し、講義を担当。入学審査に参加し、学生の配属に関わることで毎年の学生受け入れ体制を構築。2024年度も1名の新規学生の獲得に目処をつけた。
- 進めている2つのタイProgram Management Unit(PMU-B)プロジェクトにおいて、中間審査で非常に高い評価を受けた。伴い、オーガナイザー側より継続申請および拡張の打診を受け、新たな申請を2024年度に行う予定である。



PMU-Bプロジェクトの参画組織